



erica synths

pico

VCO

ERICA SYNTHS PICOシリーズをお買い上げありがとうございます。

高品質なシンセ・モジュールの機能を3HPという限られたサイズに実現させることは可能なのか?PICOシリーズは我々にとっての挑戦です。

ERICA PICO VCOはディープなサウンドが素晴らしい、32種類の波形を搭載したVCOです。

伝統的な波形からサブ・オシレーターを用いたファットなもの、FMシンセ等の様々な波形が楽しめます。通常このようなサウンドを生成しようとした場合複数の高価なモジュールが必要となります。またスイッチを切り替えるだけで多彩なLFOとしても活用できます。

## FEATURES

2種類のバンクにそれぞれ16種類の波形を搭載

VCO/LFOモードの切り替え

電圧コントロール・ウェーブサーフィン

LFOモード時の波形モーフィング

## TECHNICAL SPECS

VCO周波数レンジ 30hz~5khz

LFO周波数レンジ 0.1hz~20hz

出力振幅 10Vpp

電力消費 3hp

パネル幅 +26mA,-4mA

モジュール奥行き 35mm

# pico

## VCO

VCO



WAVE

### WAVEノブ:

このノブを回しながら各バンクに含まれる16種類の波形を選択します。



TUNE

### TUNEノブ:

このノブを回しながらVCOの原基周波数を設定します。



BANK1 VCO  
BANK2 LFO

### BANKスイッチ:

2種類の波形バンクを切り替えるスイッチです。

### VCO/LFOスイッチ:

VCOまたはLFOのモード切り替えスイッチです。LFOモード時は波形モーフィングが自動的に有効化されます。波形を次々に変化させることで面白いモジュレーションを生むことができます。



1V/OCT

### 1V/OCTイン:

チューンCVをここに入力します。VCOは1V/OCTのチューニングを完璧に追従します。



W-CV

### W-CVイン:

各バンクの16種類の波形を走査するCV入力です。前段にPICO ATTENUATOR/SCALER等を介することで波形変化の幅や始点を調整できるでしょう。

### 出力LED:

LFOモード時に出力の振幅を明滅で表示します。



OUT

### アウト:

VCOまたはLFO信号が出力されます。



ERICA SYNTHS PICO VCOは工場出荷時に1V/OCTのキャリブレーションが施されています。しかし、モジュラー・システムの電源も様々なために、ご自身の環境に合わせてキャリブレーションを行う必要がある場合もございます。以下に5.000Vと1.000VのCVソース(5オクターブ域のMIDI-CVキーボード等)を要する簡単な2ステップのキャリブレーション方法を紹介致します。以下のステップに従ってキャリブレーションを行ってみてください。

- 1) PICO VCOを電源から取り外します。
- 2) CVソースの出力にパッチケーブルを差します。ここで必ず1.000V(丁度1Vという意味です)の出力を取るようにしてください。MIDI-CVキーボードを使用する場合はC1ノートです。
- 3) WAVE及びTUNEノブを時計回りに全開にして二つのスイッチを上げます。(BANK1/VCOモード)準備が完了したらPICO VCOをシステム電源に接続します。
- 4) 1.000Vを出力しているパッチケーブルをPICO VCOの1V/OCTインへ差し込みます。
- 5) VCO/LFOスイッチを下げてLFOモードに切り替えてキャリブレーションのステップ1を起動させます。
- 6) 今度はCVソースから5.000V(丁度5Vです)を送ります。MIDI-CVキーボードを使用する場合はC5ノートです。
- 7) VCO/LFOスイッチを上げてVCOモードに切り替えてキャリブレーションのステップ2を起動させます。
- 8) VCOのキャリブレーションが成功すれば出力LEDが一度点滅します。

以下の条件に従ってErica Synthsのモジュールをご使用ください。

以下の条件下での使用のみモジュールの通常動作が約束され、

弊社の保証が受けられます。

## SAFETY INSTRUCTIONS



水濡れはウォーター・プルーフ加工以外の電子機器にとって致命的です。Erica Synthsモジュールは多湿または水濡れ環境での使用を想定していません。液体などがモジュール内部へ侵入した場合、電源接続を直ちに遮断してモジュールを取り外し、十分に乾燥させて掃除をおこなってください。



50°C以上または-20°C以下の環境でのプロダクトの使用は想定されていません。



携帯の際やインストールの際は丁寧に行ってください。  
外部的要因によるモジュールの物理的ダメージは保証されません。



各モジュールは全て弊社で梱包されてから発送されます。  
返品、交換または保証による修理での返送は購入時の梱包をお願い致します。  
その他の梱包状態での返送はお受けできない場合がございます。  
よって購入時の梱包材及び同封書類は保管して頂くようお願い致します。



erica synths

プロダクトの保証条件は弊社ウェブサイトよりご参照ください。 [www.ericasynths.lv](http://www.ericasynths.lv)

返品、交換または保証による修理での返送は以下にお送りください。

ERICA SYNTHS  
ANDREJOSTAS STR. 12  
RIGA  
LATVIA  
LV-1045

USER MANUAL BY GIRTS OZOLINS@ERICA SYNTHS  
DESIGN BY INETA BRIEDE@CARRE BRANDING

COPYING, DISTRIBUTION OR ANY COMMERCIAL USE IN ANY WAY IS PROHIBITED AND NEEDS THE WRITTEN PERMISSION BY ERICA SYNTHS. SPECIFICATIONS ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

プロダクトに関する質問やお問い合わせはこちらから [www.ericasynths.lv](http://www.ericasynths.lv) または

[info@ericasynths.lv](mailto:info@ericasynths.lv)

までお気軽にご相談ください。